

# 平成 29 年度 国保 当初予算額

保険課 ☎ 1116



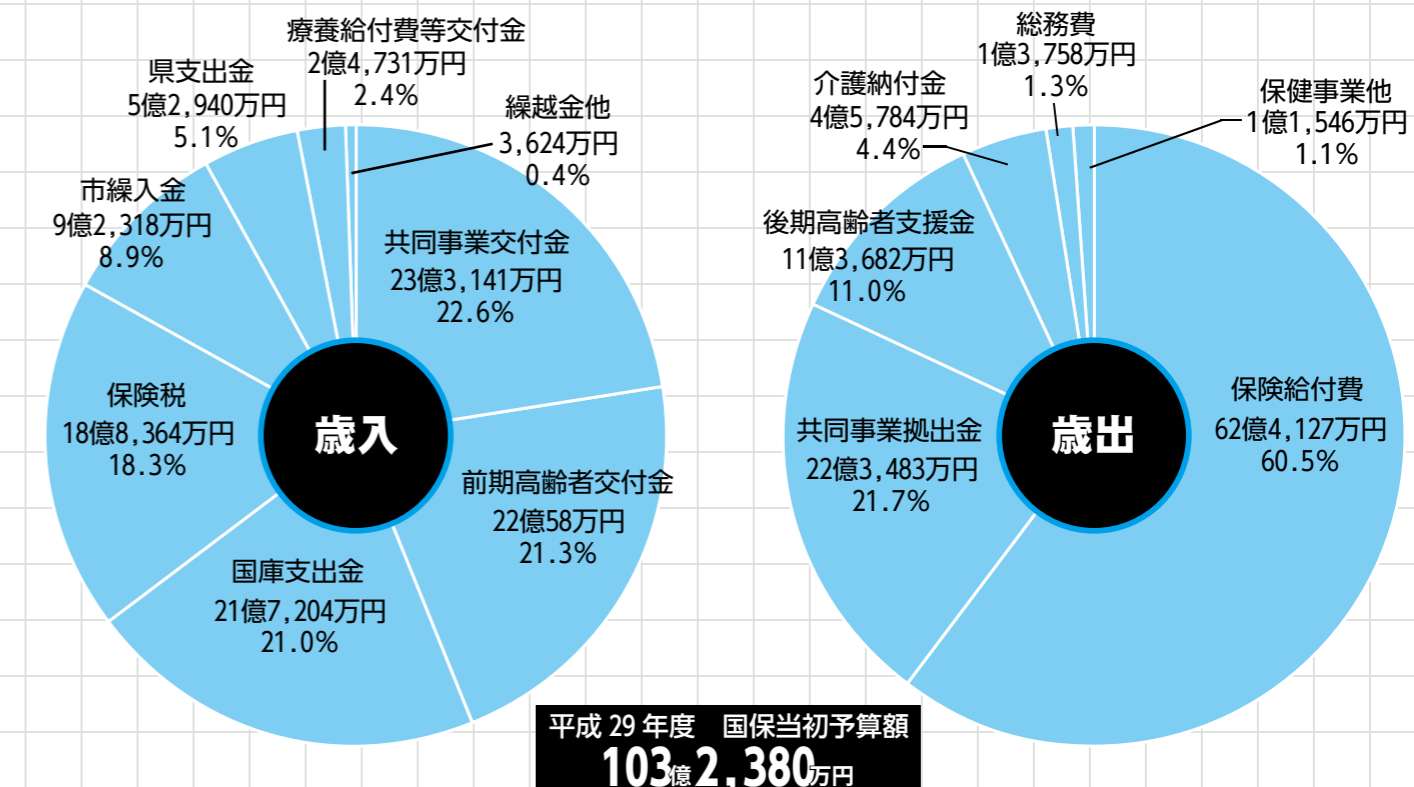
当初予算状況  
歳入歳出ともに前年度より約4億7千万円、4.7%増額しています。高齢化等により国保加入者は減少傾向にある一方で、高額な新薬の認可等により、一人当たりの医療費は年々増加しています。今後も画期的な新薬や治療方法が開発されるのが予想され、一人当たりの医療費の増加が見込まれるため、厳しい財政状況が続くことが懸念されます。

## 医療費の抑制を図るため

国保加入者の積極的な健康づくりによる健康増進を図るため、平成29年度予算では生活習慣病重症化予防事業や健康づくり事業等の保健事業予算を前年度比で約20%増額しています。また、医療費の抑制には、医療機関の適正受診、ジェネリック医薬品の活用等が効果的です。ご理解ご協力をお願いします。

### 歳入歳出の内訳

歳入内訳は、共同事業交付金が約23%、前期高齢者交付金、国庫支出金がそれぞれ



【用語解説】  
●保険給付費：国保加入者が支払う一部負担金を除いて、保険者が医療機関に支払う費用  
●共同事業拠出金・交付金：国保財政の安定化を図るため、県内市町村国保が医療費の実績等に応じて拠出金を出し合い、実際に医療費が発生した時には国の基準に基づいた交付金が交付される制度  
●後期高齢者支援金：75歳以上の人が加入する後期高齢者医療制度に対して拠出する支援金  
●介護納付金：40歳から64歳までの国保加入者から徴収し介護保険に納付する介護保険料  
●前期高齢者交付金：前期高齢者(65歳~74歳)にかかる保険給付費等について、国民健康保険と社会保険の財政負担の不均衡を調整するための交付金  
●国庫・県支出金：国民健康保険事業を運営する市町村に対し、国民健康保険事業に要する費用の一部を国・県が負担する負担金・交付金  
●療養給付費等交付金：退職被保険者等の医療費等を購うために社会保険診療報酬支払基金から支払われる交付金

## 医療費が高額になったときは

●高額療養費  
同じ月内の医療費の自己負担額が高額になったとき、申請して認められると、**限度額を超えた分を高額療養費として支給**します。  
※限度額は年齢や世帯の所得に応じて異なります。該当者には申請のお知らせを送付します。送付時期は早くても診療月の3か月後になります。

●入院・高額通院の場合  
事前に「限度額適用認定証」を交付申請し、医療機関窓口にて提示することで、**医療機関ごと、1か月の窓口負担が限度額まで**になります。  
※70歳~75歳未満で住民税課税世帯の人は申請不要。

●特定疾病の場合  
人工透析を必要とする慢性腎不全など、長期的に高額な治療を必要とする特定疾病の人は、事前に「特定疾病療養受療証」を交付申請し、医療機関窓口にて提示することで、**医療機関ごと、1か月の窓口負担が1万円まで**になります。  
※慢性腎不全で70歳未満の上位所得者の窓口負担は2万円までとなります。

●高額医療・高額介護合算療養費  
年間の医療費が高額になった世帯に介護保険の受給者がいる場合、国民健康保険と介護保険の両方の自己負担を合算し年間の限度額を超えたときに、申請して認められると、**超えた分を高額介護合算療養費として支給**します。  
※該当者には1月下旬に申請のお知らせを送付する予定です。

## 国保加入者を対象とした事業

●人間ドック助成  
対象 次の要件を全て満たす人(世帯)  
①6か月以上継続して国保に加入している人  
②35歳以上の人  
③保険税を完納又は完納見込みの世帯  
④市の特定健康診査を受診しない人  
助成額 **2万円**  
※受検料が2万円以下の場合は実費相当額を助成します。市の特定健康診査を受診した人は、同じ年度内に人間ドック助成金の交付は受けられません。

●出産育児一時金支給制度  
国保加入者が出産したときに支給します。  
支給額 **40万4千円**(子ども1人につき)  
※産科医療補償制度加入医療機関で出産した場合は、42万円(子ども1人につき)を支給します。職場の社会保険等に1年以上加入していた国保加入者が退職後6か月以内に出産した場合は、その社会保険等へ申請してください。

●葬祭費支給制度  
国保加入者が死亡したとき葬祭を行った人に支給します。  
支給額 **5万円**  
※他の社会保険等に加入していた人が退職後3か月以内に死亡した場合は、その社会保険等へ申請してください。

## 保険証が変わったときは早めに届出を

国保加入者が新たに職場の健康保険などの社会保険に加入した場合、国保の脱退手続きが必要です。手続きをしないと、国民健康保険税と社会保険料の**二重払い**が生じてしまいます。  
また、社会保険証が手元に届いていなくても、社会保険の資格取得日以降に国民健康保険証を使用した場合、医療費の国保負担分(一部負担金を除く7割から9割分)を**後日返還**してもらうことになります。

●手続き方法  
▶窓口の場合…保険課(市役所1階)又は市民福祉課(アスパアこだま内)に、社会保険証と国民健康保険証を持参  
▶郵送の場合…国保を脱退する全員分の社会保険証のコピーと国民健康保険証(原本)を同封し、コピーの余白に「平日窓口に行けないため郵送で脱退手続きしたい」旨と昼間の連絡先、住所、氏名を記入し押印して下記に郵送  
〒367-8501 本庄市本庄3-5-3 本庄市役所 保険課

## 新しい保険証を郵送しました

10月1日から使用する新しい国民健康保険証(茶色)を、9月中旬に「簡易書留郵便」で送付しました。届かない場合は最寄りの郵便局又は右記までお問い合わせください。  
※保険税を滞納している一部の世帯には、納税相談の後にお渡ししますので、郵送はしていません。

## ポイント貯めて賞品をゲット はにぼんチャレンジ 2017

20歳以上の全市民を対象に、健康で元気な生活ができる「健康寿命」を延ばすサポートをします。  
対象の健康づくり事業、特定健診・人間ドック、がん検診等に参加してチャレンジポイントを集めると、市内の協力店等で賞品と交換できます。自主的な健康づくり活動もポイントの対象になります。  
ポイント手帳は市役所、アスパアこだま、保健センター、公民館などの公共施設等で配布しています。  
※今年度から年2回まで賞品交換できるようになりました。(11月6日交換開始)

